

技術概要書（様式）

※

出展技術の分類	安全・防災 インフラDX 維持管理 環境 コスト 品質 （該当分類に○を付記）		
技術名称	消音仮設壁『サイウォール®』	担当部署	アクティオRS本部建築保安事業部
NETIS登録番号	QS-230021-A	担当者	建築保安事業部 吉本
社名等	アクティオ	電話番号	03-6666-2548
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機		
	オフィスビルや病院、商業施設等の改修工事では、入居者や利用者がいる状態で作業を行うため、騒音対策が極めて大きな課題でした。特に、壁や床を伝わる音だけでなく、空気中を伝わる不快な作業音（空気伝播音）は、クレームや夜間工事の増加、ひいては工期長期化や人手不足を招いていました。この問題を根本から解決し、「昼間でも静かに工事ができる環境」を実現するために、優れた遮音性を持つ屋内用の消音仮設壁「サイウォール®」が開発されました。		
	2. 技術の内容		
	優れた遮音性能により、屋内工事の不快な騒音（空気伝播音）を約30dBも大幅に低減できます。ユニット化された9種類のサイズ違いのパネルを組み合わせることで、現場の広さや天井高に合わせて隙間なく簡単に組み立て・解体が行えます。また、箱状の「サイボックス」を構築して音の出る工具類を直接囲い込んだり、作業用の個室「サイルーム」を作ることで、工事エリア外への音漏れを徹底的に防ぐことが可能です。		
	3. 技術の効果		
不快な工事騒音を大幅に抑えることで、これまで夜間や休日に限定されていた改修工事を平日の日中へ移行できるようになります。これにより、夜間手当などのコスト削減や工期短縮、人手不足の解消に大きく貢献します。 さらに、ホテルや病院などの営業・診療を止めずに工事が進められるため、運営側の減収や利用者へのクレームを回避できます。また、音だけでなく振動や粉塵も抑制されるため、現場の作業環境や安全性の向上にも繋がります。			
4. 技術の適用範囲			
・24時間体制で稼働している「病院・医療施設」での改修・仮設工事 ・テナントが通常営業している「オフィスビル・商業施設」の昼間工事 ・ホテルなどの「宿泊施設」や深夜作業が制限された「共同住宅（マンション）」			
5. 活用実績			
民 間 2 件（九州以外 2 件）			

6. 写真・図・表

